

各教育関係者様


 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校 平成 27 年度 研究発表会のご案内(二次)

研究主題：新しい時代に必要となる資質・能力の育成への試み ～「知識・技能」の構築へ向かう授業の工夫～

本校の研究は、平成 20 年及び 21 年の学習指導要領の改訂の趣旨と連動しながら、知識・技能の習得と活用を通して思考力・判断力・表現力を伸ばし、生徒が主体的に課題を見つけ、問題解決を図る学習活動を目指して取り組んできました。このプロセスを重視した探究型学習を推進するために、言語活動や ICT の活用を充実させ、理論と実践の両面において授業研究の成果を上げているところです。今年度の研究主題にある「新しい時代に必要となる資質・能力」については、平成 27 年 8 月 26 日に中教審の教育課程企画特別部会から公表された「論点整理」等の中で、次期学習指導要領改訂の骨子として位置付けられています。

本研究発表会では、「知識」「技能」の確実な習得を目指しつつも、新しい時代にふさわしい授業観に基づく学習活動の工夫を通して、教科の本質に触れるような子どもたちの学ぶ姿をどのように実現するかについて、各教科から授業提案させていただきます。授業提案を踏まえて教科分科会では、文部科学省調査官及び共同研究者の先生方からご教示をいただきながら、これからの時代に求められる資質・能力の育成について、皆様とともに考えていきたいと存じます。

なお、総務省「フューチャースクール推進事業（平成 23 年度～27 年度）」の指定校として、昨年度に引き続き、ICT を効果的に活用する授業の在り方を提案させていただく予定です。

以上、本年度研究発表会の趣旨をお知らせするとともに、多くの方々からご参会いただきますようお願い申し上げます。

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校長 中嶋俊夫

- 1 主 催 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校
 2 日 程 平成 28 年 2 月 19 日(金) 10:00～16:10 数学, 理科, 技術, 家庭, 保健体育, 英語
 平成 28 年 2 月 20 日(土) 10:00～16:10 国語, 社会, 音楽, 美術, ICT

9:00～ 受付	10:00～10:50 公開授業	移 動	11:00～(11:30) 生徒による 授業評価等	昼食 休憩	12:30～12:50 校長挨拶・ 基調提案 (両日同内容)	12:50～16:10 研究協議・ 講演等
教科分科会ごとに行います。途中休憩をとります。						

※ 20 日(土)の「ICT」は 15:00 まで研究協議・講演を行います。終了後、他分科会の講演等にご参加ください。

※ 20 日(土)の「ICT」以外にも、ICT 環境を生かした授業を提案する教科があります。

※ 昼食は、ご持参いただくか、学校前の弘明寺商店街などをご利用ください。お弁当の販売もいたします。

3 助言及び講演の先生方

国語	文部科学省教科調査官 杉本 直美 先生	音楽	文部科学省教科調査官 臼井 学 先生	技術	文部科学省教科調査官 上野 耕史 先生
社会	文部科学省教科調査官 濱野 清 先生	美術	文部科学省教科調査官 東良 雅人 先生	家庭	文部科学省教科調査官 筒井 恭子 先生
数学	文部科学省教科調査官 水谷 尚人 先生	保健 体育	文部科学省教科調査官 高橋 修一 先生	英語	文部科学省教科調査官 平木 裕 先生
理科	国立教育政策研究所 学力調査官 鈴木 康浩 先生				

4 各教科の研究テーマ・公開授業コンセプト・共同研究者 一覧

【1日目：19日(金)】

教科等	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所、単元・題材など	担 当 ◇授業者	共同研究者 (横浜国立大学)
数 学	○協働的な学習活動を通じた「知識・技能」の構築を目指す授業の工夫 公開授業 2年	・2年生「C 関数」領域の単元「1次関数の利用」において、見通す・振り返る学習活動を通して関数関係を見出し、協働的に考察して「知識・技能」の構築を目指す授業について提案します。	◇大矢 周平 大内 広之 関野 真	教授 池田 敏和 先生
理 科	○科学的な概念の構築と科学的探究の能力の育成を目指した授業の工夫 公開授業 2年	・単元「電流とその利用」において、主体的・協働的な学びを通して、論理的な思考力の基盤及び実社会・実生活における活用可能な形としての知識・技能を習得させ、科学的な見方・考え方を育成する授業の工夫を提案します。	◇田中 明夫 ◇井上 祐介	教授 森本 信也 先生
技 術 ・ 家 庭	技術分野 ○知識と技術を活用し、生活の課題を解決する能力の育成を目指した授業の工夫	・「A 材料と加工に関する技術」において、作品の製作活動を通して身に付けた「知識・技能」をもとに、技術を適切に評価し活用する能力の育成を目指した授業を提案します。	◇吉田 和弘	准教授 鬼藤 明仁 先生
	家庭分野 技術 公開授業 1年 家庭 公開授業 1年	・「C 衣生活・住生活と自立」の(3)衣生活、住生活などの生活の工夫のイと「D 身近な消費生活と環境」の(2)家庭生活と環境のアとの関連を図った授業を通して、生活の課題を解決する能力の育成を目指します。	◇菅田 浩美	教授 堀内 かおる 先生
保 健 体 育 科	○協働的な学び合いの中で互いの成長を喜び合える授業づくり 公開授業 2年	・協働的な学び合いの中で武道の伝統的な考え方を学び、相手と直接的に攻防する楽しさや喜びが味わえる授業を提案します。また、仲間と共に積み重ねた知識や技能の高まりを共有し、課題設定・解決に取り組みます。	◇関 さおり 中山 淳一朗	名誉教授 落合 優 先生 (横浜創英大学教授) 准教授 梅澤 秋久 先生
英 語	○実践的コミュニケーションに必要となる「知識・技能」の構築へ向かう授業の工夫 公開授業 1年	・コミュニケーション活動を通して、相手が伝えようとしていることを正しく受け取り、自分が伝えたいことを正しく伝える力を養うとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指した授業を提案します。	◇田前 千春 大貫 謙一 武田 美樹	教授 満尾 貞行 先生

【2日目：20日(土)】

教科等	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所、単元・題材など	担 当 ◇授業者	共同研究者 (横浜国立大学)
国 語	○「ことば」への認識を協働的に育む指導と評価 公開授業 1年	・考えをまとめる目的や場面が多様になる1年生の「書くこと」の指導について、この一年間、全員で取り組んできた「言葉ノート」を題材に、実用的な知識や技能の習得にとどまらない、子どもたちが書くことへの認識を深めるための実践を提案します。	◇高橋 あずみ 清水 理佐 福井 雅洋	教授 高木 まさき 先生 准教授 石田 喜美 先生
社 会	○歴史的分野における「知識・技能」の構築へ向かう授業の工夫 公開授業 1年	・1年生の歴史的分野において、「見通す・振り返る」学習活動や言語活動を取り入れた活動等を踏まえて、「知識・技能」の構築へ向かう授業づくりとその工夫について提案します。また、当日公開する授業は、「中世」における歴史的な見方・考え方を育成する場面を予定しています。	◇土 谷 満 林 達 郎	教授 重松 克也 先生
音 楽	○「表現」と「鑑賞」を関連付けた活動から、音楽科での「知識・技能」を構築する授業の工夫 公開授業 2年	・音楽科の特性にかかわる重要なねらいは、音楽に対する感性を豊かにすることと考えます。そのためには音や音楽の「聴き方」を学び、音や音楽を「頭の中で鳴らす」体験をしながら、「他者と共感して分かち合う」ことが大切です。これらの活動から「知識・技能」が構築される授業を提案します。	◇平石 孝太	准教授 島田 広 先生
美 術	○美術における「知識・技能」が実感を伴う理解につながる指導の工夫 公開授業 2年	・「動くはずのない野菜が動き出すとしたら」をテーマに、生徒一人ひとりが仮説を立てることで、題材を「自分ごと」として捉え、主体的で創造的に学ぶ場をつくりだします。また、題材を通して協働的な活動を取り入れて学習しています。新たな体験や、これまでの学習や経験で得た知識や技能を活用しながら、様々な「動き出す形」を生み出す生徒の姿を見に来てください。	◇飯田 哲昭	准教授 小池 研二 先生
ICT (英語)	○学習活動(協働学習等)を促すICT活用の実践 公開授業 3年	・タブレット PC 等を活用して考えを瞬時に共有し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指した英語の授業を公開します。	◇大貫 謙一 鹿島 俊章	教授 野中 陽一 先生

5 会 場

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校



6 参加費及び書籍代

一日参加：2,000円 両日参加：2,500円（当日、受付にてお支払いください。）

※ 両日とも同日程(基調提案も同内容)で、教科等のみ異なります。

※ 全教科等の学習指導案を封入してありますので、一日参加ですべてお持ち帰りいただけます。

7 申込から受付まで

・本校ホームページから事前にお申込みください。

・事前申込は、平成 27 年 12 月 18 日(金)から平成 28 年 2 月 18 日(木)正午までの間にお願いします。

[事前申込の流れ]

□1 次の URL (<http://yokochu-ynu.com/>) にアクセスしてください。

□2 「平成 27 年度 研究発表会申込フォーム」で必要事項を入力し、お一人様ずつお申込みください。

・次のものを当日にお持ちください。

□1 「平成 27 年度 研究発表会申込フォーム」のメールの印刷物 → 受付でご提出ください。

(スマートフォン等でメールの受信画面をご提示することをご遠慮ください。)

□2 所属機関(学校など)でお使いになっている名札 → 会場でご着用ください。

8 その他

○ 受付及び授業会場は例年たいへん混み合います。お早めに受付を済ませることをお勧めいたします。

○ 午前の公開授業で撮影した映像・画像等は、研究・研修を目的とした個人的使用に限定してください。

○ 午後の分科会における撮影・録音などはご遠慮ください。

○ ご不明な点は、[担当] a.takahashi@ynu.ac.jp までメールにてご連絡ください。

○ 事前申込後のキャンセルは、速やかに yokochu@ynu.ac.jp までメールにてご連絡ください。

[担当] 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校
研究主任 高橋 あずみ (E-mail : a.takahashi@ynu.ac.jp)
<http://yokochu-ynu.com/>
〒232-0061 横浜市南区大岡 2-31-3
TEL 045-742-2281 FAX 045-742-2522